



## “傷だらけの富士山” 「富士山の環境保全」 講演会

世界遺産登録以降、富士山は混雑がひどく、豊かな自然がおびやかされています。県はスバルラインに鉄道敷設を構想、議論が巻き起こっています。富士山の自然環境について知ることがまず大切です。“富士山学”で高名な渡辺豊博先生の講演を企画しました。誘い合っ  
てご参加いただき一緒に学びましょう。

**日時** 2月4日(日) 午後2時より

**会場** コミュニティセンター富楽時

富士吉田市下吉田 4-2-15

TEL 0555-23-6230

**主催** 富士山の環境を考える会

TEL 080-5672-1002

**講師** 渡辺豊博氏プロフィール

1950年生まれ。東京農工大学農学部を卒業、静岡県庁に入庁、農業基盤整備やNPO支援事業などを担当。2007年に農学博士号を取得し、2008年より都留文科大学文学部社会学科教授。「市民活動論」や日本で最初の「富士山学」などを開講。富士山クラブや富士山測候所

を活用する会など、富士山に関係する4つのNPO法人の事務局長職を歴任、「富士山再生オピニオンリーダー」としての役割も果たしている。

1998年に富士山クラブを設立(現在NPO法人)し、理事・事務局長として富士山の世界遺産登録を目指し、さまざまな先駆的な活動を仕掛けた。主な活動には、年間約5,000人が参加する富士山清掃活動や、富士山五合目と山頂への環境バイオトイレの設置など。